

津山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	地域貢献
科目基礎情報						
科目番号	0012		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実技		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	総合理工学科(電気電子システム系)		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	特になし					
担当教員	小林 敏郎					
到達目標						
学習目的：地域社会への貢献活動を、主体的に計画しそれを実施することにより、地域の現状について体験的に考え、さらに今後一人の人間として社会的に生きるとは何かということについて深く学習することを目的とする。						
到達目標： 1. 地域社会の実情を理解し、社会性を身につける。 ◎ 地域への貢献活動を通して、そこでの経済、文化、政治、社会問題等を理解し、地域社会で主体的に生きる個人及び技術者としての姿勢・素養を培う。						
ルーブリック						
	優	良	可	不可		
評価項目1	貢献活動の社会的背景や重要性を理解し、その詳細を説明できる。	貢献活動の社会的背景や重要性を理解し、その基本事項を説明できる。	貢献活動の社会的背景や重要性を理解し、その基本事項を概ね説明できる。	貢献活動の社会的背景や重要性を理解し、その基本事項を説明できない。		
評価項目2	貢献活動を積極的に展開し、その意義を理解し、詳細に説明できる。	貢献活動を積極的に展開し、その意義を理解し、その基本事項を説明できる。	貢献活動を積極的に展開し、その意義を理解し、その基本事項を概ね説明できる。	貢献活動を積極的に展開し、その意義を理解し、基本事項を説明できない。		
評価項目3	公共心を持ち、他人や自分の独創性について詳細に表現することができる。	公共心を持ち、他人や自分の独創性について基本的に表現することができる。	公共心を持ち、他人や自分の独創性について概ね表現することができる。	公共心を持ち、他人や自分の独創性について表現することができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	一般・専門の別：一般・融合科目・その他 必修・履修・履修選択・選択の別：選択 基礎となる学問分野：国語・英語・公民 学科学習目標との関連：本科目は「⑤グローバルな視点と社会性の養成」, 「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育目標は「(B)地球的視野に立った人間性の育成, B-2：地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し, 説明できること」である。 授業の概要：地域の社会活動や国際交流活動に計画的に参加し, 交流活動報告書を提出する。					
授業の進め方・方法	授業の方法：個々に計画書を作成し, それに従って活動する。具体的な貢献活動内容は貢献機関のプログラムに従う。活動後に報告書を作成, 提出する。 成績評価方法：報告書により活動への貢献度, 理解度等を判定し, 100点満点で評価する。合格した者は担当教員に申し出るとともに, 学年末試験の最終日までに教務委員会へ単位取得申請を行うこと。					
注意点	履修上の注意：この科目を履修しようとする年度の前年度の適切な時期までに担当教員を決定し, 担当教員に貢献活動の計画書を提出し, 貢献活動を実施することの了解をとらなければならない。その後, 所定の期日までに貢献願等必要書類を提出しなければならない。また, 所定の期日までに選択科目履修願いを提出すること。なお, 上記の担当教員決定時期, 教務係への提出時期等の詳細は掲示等で指示する。 履修のアドバイス：自ら積極的に取り組むことが必要である。 基礎科目：国語, 人文・社会の科目, 英語・国際コミュニケーション推進プログラムの科目 関連科目：全系横断演習, キャリアマネジメント, シナジーゼミナール, 医療福祉推進プログラム, 地域イノベーション推進プログラムの科目 受講上のアドバイス：交流活動は指定された機関において行うことで必要なので, 該当する機関であるかどうか, よく確認すること。また交流活動に必要な経費は, すべて自己負担である。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス			
		2週	書類作成, 手続き等の説明			
		3週	貢献活動 1日8時間を上限として合計22時間以上			
		4週	同上			
		5週	同上			
		6週	同上			
		7週	同上			
		8週	同上			
	2ndQ	9週	同上			
		10週	同上			
		11週	同上			
		12週	同上			
		13週	同上			

後期		14週	同上	
		15週	同上	
		16週		
	3rdQ	1週	貢献活動 1日8時間を上限として合計22時間以上	
		2週	同上	
		3週	同上	
		4週	同上	
		5週	同上	
		6週	同上	
		7週	同上	
		8週	同上	
	4thQ	9週	同上	
		10週	同上	
		11週	交流報告書の作成	
		12週	同上	
		13週	同上	
		14週	同上	
		15週	同上	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	報告書	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	100	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	60	0	0	60
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	40	0	0	40